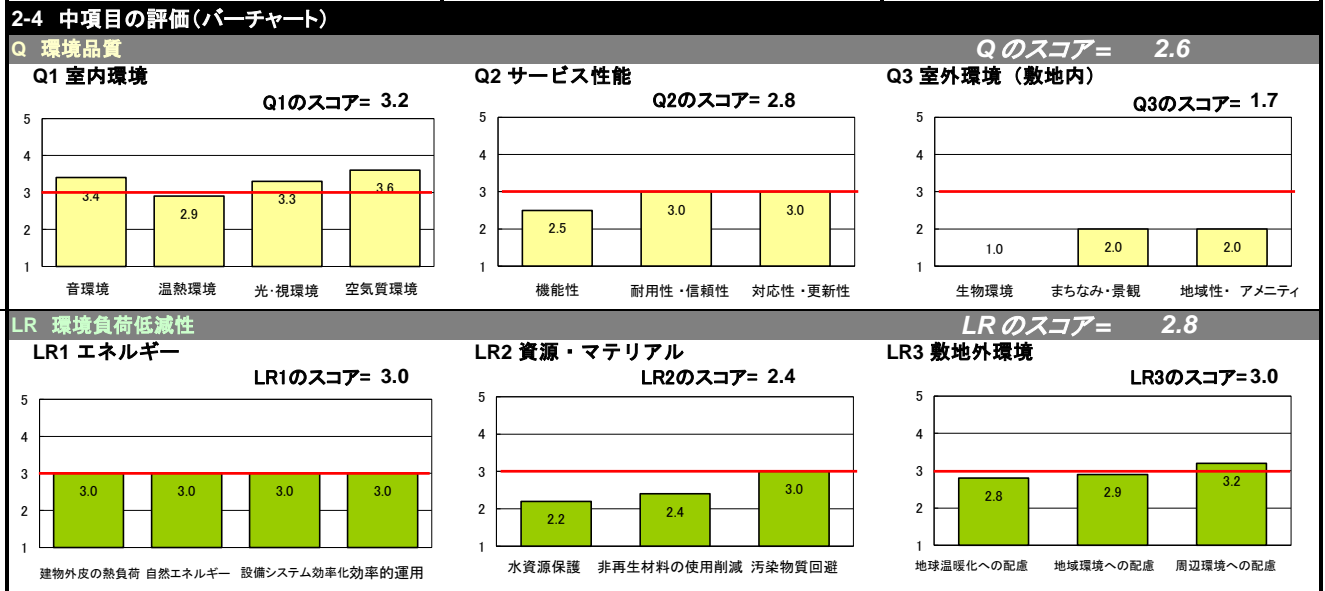
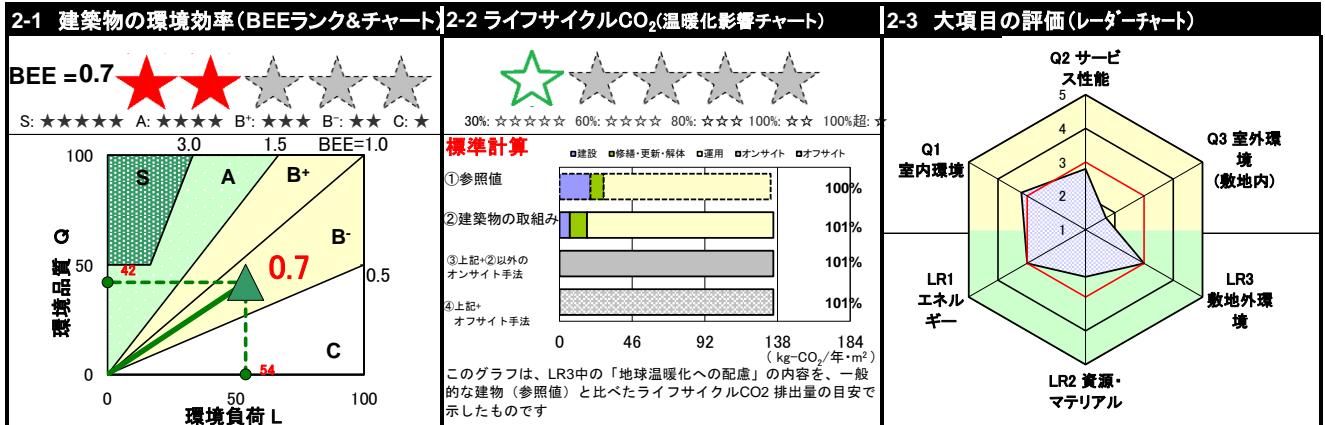


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 辻堂東海岸4丁目計画南棟 新築工事	階数	地上3F
建設地	藤沢市辻堂東海岸4丁目15番-1の一部	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用地域、防火指定なし	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年9月3日
敷地面積	2,367㎡	作成者	株式会社スタイレックス
建築面積	840㎡	確認日	2018年9月3日
延床面積	2,139㎡	確認者	株式会社スタイレックス

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	周辺の低層住宅地に調和するよう、建物周囲に植栽を多く計画している。また、海岸に近いこともあり、白を基調とした明るい外観デザインとしている。	その他
Q1 室内環境	専有部分について、遮音性に配慮し、高い昼光率を確保するなど、室内環境の向上に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 標準的な配慮を行っている。
LR1 エネルギー	建物全体のBEI=1.00とし、建物の省エネ性能を高めた設計としている。	LR3 敷地外環境 光害の抑制に配慮している。
Q2 サービス性能	階高にゆとりを持たせた設計とし、住宅性能評価における劣化対策等級3としている。また、空調給排水配管の更新年数に配慮し、建物のサービス性能に配慮した設計としている。	
LR2 資源・マテリアル	標準的な配慮を行っている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される